

下水道 BCP 図上訓練に関する調査研究

調査研究年度：2015 年度

地震・津波対策

固有研究

【調査・研究目的及び成果】

本研究では、平成 26 年度に当機構、長野県及び県内 54 市町村が共同して作成した BCP に基づき、被害報告や支援要請等、県内の広域的な連携を踏まえたロールプレイング方式の図上訓練を長野県（本庁及び流域下水道事務所）、長野市及び千曲市と共同で実施した。BCP に基づいた初動対応を実践することにより、BCP の不足点・改善点を抽出し、BCP のブラッシュアップに資する訓練となった。

【検討結果の概要】

(1) 訓練の方式

ロールプレイング方式の訓練とは、発災時に想定されるシナリオを仕組みながら、コントローラー（進行側、訓練を仕掛ける側）とプレイヤー（訓練を受ける側）に分かれて実施する訓練である（図-1）。

プレイヤーは事前にシナリオを知らされておらず、コントローラーから逐次付与される情報を基に対応を判断しながら訓練を進めていく。

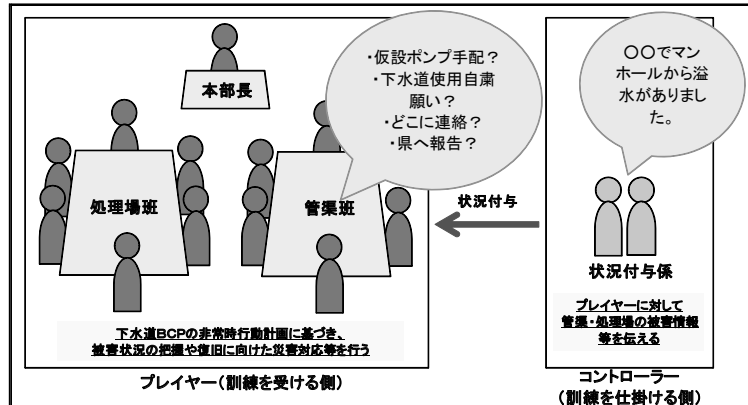


図-1 ロールプレイング方式の訓練イメージ

(2) 訓練の流れ

発災後 1~2 日程度を想定し、地震発生後から情報収集や各種調査に向けた体制を整える「初動対応」の迅速化と、各団体が下水道被害情報の収集、とりまとめ、報告などを適切に行う「情報の受伝達」に重点を置いて図上訓練を実施した。

また、図-2 の例に示すように、単純な情報の受伝達だけではなく、揚水ポンプの手配や下水道の使用自粛の依頼等の緊急措置対応を含めた訓練シナリオを考案した。



写真-1 BCP 訓練風景

【特徴等】

(1) 広域連携を踏まえた訓練

下水道事業災害時における県内の応援ルール及び、中部ブロック支援ルールに基づき、支援要請の報告・とりまとめを行う訓練内容とした。

(2) 反省会の実施と BCP への反映

訓練終了後、参加者全員で今回の訓練を評価し、課題等の共有を行う振り返り会を実施した。その結果、実効的な下水道 BCP のブラッシュアップに繋がる意見・反省点が多く挙げられた。

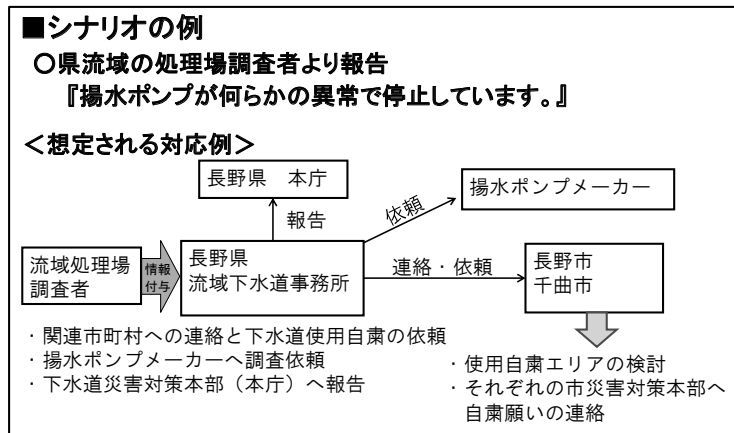


図-2 訓練シナリオの例

●本訓練の実施状況写真を以下の URL よりご覧いただくことができます。

<http://www.jiwet.or.jp/?p=18506>

※（公財）日本下水道新技術機構

問い合わせ先：研究第一部 鈴木 稔，田邊 信幸，日高 康晴【03-5228-6597】

キーワード

BCP，図上訓練，防災対策，災害対策，流域下水道